



[第2部：実践編]

実演！ 衛生のプロによる 嘔吐処理の方法

引用：株式会社サラヤ
「汚物処理マニュアルカード」より

汚物の処理はスピーディに！

速やかな処理を実施することが
感染拡大防止のポイントです。



ウイルスの
発生源を
すばやく処理！

嘔吐物中のウイルス

10万～1億個/ml

ふん便中のウイルス

1万～100億個/g
不顕性感染者でも
10～100万個/g排出

患者便1gで
100万人に
感染

ノロウイルスは、非常に強力な感染力を持つウイルスです。
「すばやく」「適切」な処理が不可欠です。

汚物処理を行うための準備-1

準備物

処理に使用するもの

- 次亜塩素酸ナトリウム (1,000ppm以上に調整したもの 3L以上)
- ペットボトル (2L 2本) ● バケツ (2個 消毒用、水拭き用)
- ペーパータオル (5束) ● ポリ袋 (2枚)
- 汚物回収用のヘラ (2枚1組を4セット)

処理担当者ご自身を汚染から守るためのもの (1人当たり)

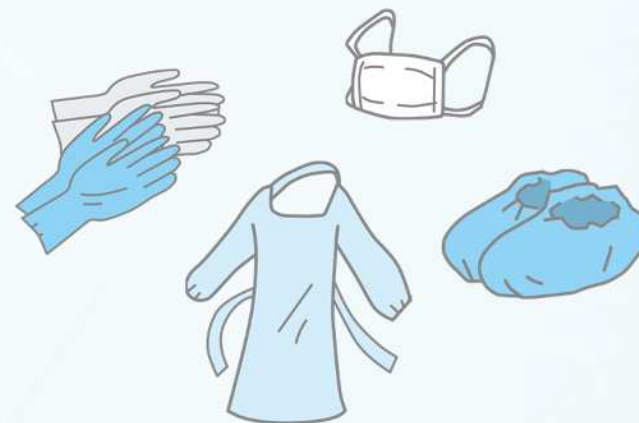
- エプロン／ガウン (1枚)
- マスク (1枚)
- ヘアキャップ (1枚)
- 手袋 (2枚重ね)
- シューズカバー (2枚重ね)

いずれも
使い捨てのものが
望ましい。

処理従事者の二次感染防止のために

1

必ずエプロンやマスク、手袋などの**感染防止用品**を着用する



2

処理従事者以外の
処理現場への接近禁止



立入禁止

3

処理場所の**十分な換気**

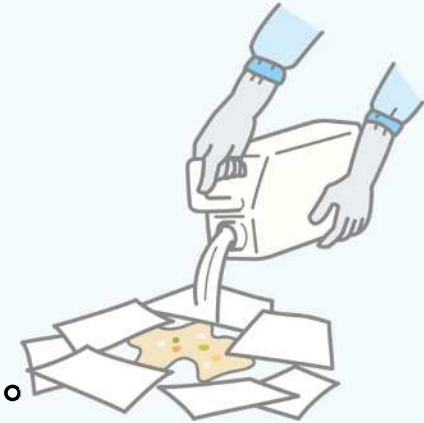


汚物の処理 手順

汚物処理の手順-1

1

嘔吐物の周囲から1,000ppmの次亜塩素酸ナトリウムに浸したペーパータオルを敷き、次に嘔吐物上部にも被せ、更に1,000ppmの次亜塩素酸ナトリウムを飛び散らないようにかける。



2

厚紙などをヘラのように使用して、敷き詰めたペーパータオルを周囲から内側に向かって静かにかにすくい取り、1次回収袋に入れる。



汚物処理の手順-2

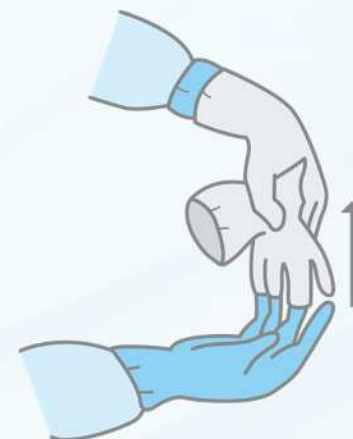
3

すくいきったら使用したヘラ、外側のシューズカバーと手袋をはずし、1次回収袋に入れて、1000ppmの次亜塩素酸ナトリウムを浸る程度にかける。



4

口を固く一本結びで閉じて2次回収袋に入れる。



汚物処理の手順-3

5

汚物を取り除いた床面を、1000ppm次亜塩素酸ナトリウム溶液で浸したペーパータオルで覆い、ペーパータオルが十分濡れるようさらに上から同じ溶液を注ぐ。

約10分後、別のヘラを使用しすくい取って2次回収袋に入れる。



6

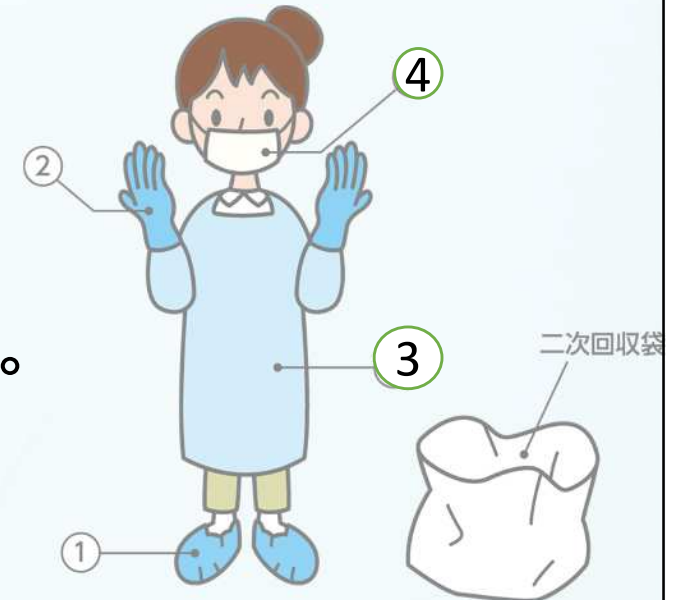
さらに、1,000ppm次亜塩素酸ナトリウム溶液に浸したペーパータオルで拭き取り、その後、水拭きをする。拭き取ったペーパータオルは2次回収袋に入れる。

※内側に集めるように一方向に拭きとる。



汚物処理の手順-4

7 出入口マットに立ち、シューズカバー→
マット→手袋→エプロン→キャップ→
マスクの順に外し、2次回収袋に入れる。
袋の内側を触らないように口を固く結ん
で閉じる。



8 処理従事者はしっかり衛生手洗いと
うがいをする。



ノロウイルス対策のまとめ

- 1 店内・事業所でスタッフ全員参加の勉強会を開催し、知識を深めておきましょう。
- 2 店内・事業所で繰り返し啓発を行い、スタッフ一人ひとりの意識を高めていきましょう。
- 3 ノロウイルスの感染が疑われるスタッフは、すぐに業務から離れるように指示しましょう。

汚物処理の手順-4

(床面消毒の10分間の間)

周囲に1,000ppm次亜塩素酸ナトリウム液を浸したペーパータオルを下から隙間のないように貼り付け、10分程度おき、ヘラですくってペーパータオルは2次回収袋に入れる。

さらに次亜塩素酸ナトリウム溶液で下に向かって拭き取り、その後ペーパータオルで水拭きし、2次回収袋に入れる。

